

WHITE THERMAL No.5

新格納庫3F写真判定室裏
Office of BLUE THERMAL 2010
今夜の担当

国貞	良介	(首脳)
相賀	康平	(中核)
豊川	宗太郎	(立命館)
上河	東	(立命館)

午後も雪戦や? や! 自銀の喜沼、積雪ノースト

昨夜からのドカ雪で、今朝は自銀の喜沼となった。宿舎周辺は15cmの積雪で、4年とも4年間でこれほどの雪は見たことがない」と驚いていた。(上河)



地上の星

十三係

私の胃袋を握る 梶原 陽子

昨日から降り続いた予想外の大雪におて、一面銀世界となった宿舎付近にユニークな雪像たちが現れ、あたりはさながら妻沼雪祭りの様相を呈している。まず宿舎を出ると、大工の山下選手制作のピロウと関西学院クルー制作のミニガまくらが目を引く。ミニガまくらは、独創的な形が印象的だ。土手の向こうには、さらに技巧を凝らした作品が並んでいる。



慶応大一同制作の裸婦像「電子」は、即興とは思えないほどの完成度で、台座に用いられた「KEIO」の文字が威厳を放つ。その像の向こうには、関西学院と同志社のクルーが制作した0日がたつ。極めつけは、東海関西一同制作の大きなガまくら。こちらは人が4人も入れるようなサイズがある本格派で、制作に関わった人たちは完成後中に入って記念撮影を楽しんでいた。(リニサグ)



毎日のクルーへの食事の準備、それが今宿舎でメン係を担当する東京理科大学、梶原陽子さんの仕事だ。そこで今回は、梶原さんにこの仕事に携わるうえでの苦労した点などを取材した。作業中に大変だと感じる事は何かという問いに、彼は「食事の数があらずどの大学が足りないかわからない時は困ります」とコメント。そしてそのようなときの心境として、「そんな状況になってしまったときはただただ焦ります」と答えた。食事の個数管理という作業の厄介さか伺える。最後に彼は、「取りに来て下さりありがとうございます。箱の処理をよろしくお願ひします」と RUNWAYで昼食を取りに来るクルーに一言メッセージを残した。(空川)

東大24復活物語、後編

操縦の難しいASW24は、条件の厳しい関東大会を戦つたのは難しかった。結果は最下位、東選手も大会には出せぬ。もういいやと、そんな心境でいた不調な東大が、乗りに上げ出場するという連絡が入る。全国大会エントリー締切の、実は3日前のことだった。3月に切れる耐空検査。3月に大利根で行う予定だったが、急遽喜沼で中村教官と行うことになった。24は勝てない。参加賞で終わるかと、東大教官は東選手に言った。しかし東選手は語る。「勝ちたい気持ちがある。でも、新機で展示されていたASW24と憧れて航空部に入った。もし航空部の目標が、「東大24を競技機として復活させること、自分がそこに居、ていること」になった。そんな思いがあったことか嬉しい。」

東選手によれば、東大は全国大会においてアジアでの入賞経験は存在しない。今後のフライトが楽しみだ。

Discussionと68が活躍の幅を広げた学生航空界で、全国初となるASW28が同志社大学に昨年導入された。操縦の難しい29の欠点を改善したのが28。先代機も飛ばす側と心算したい。もちろん東大も24を出し続けるのが全国大会の存在感が薄くなるまいと頑張ります。」と東選手は最後のコメントを告げた。(空川)



気になるあの機のパイロット

慶應4 ①うちの2番手 ②早稲田 ザングル ③松居のマツダ ④青山23 原 ⑤鴻巣 ⑥松居の焼きもち ⑦くそ4年で死なません。がんばります	星野佑介 ①法政 日向野 教官 ②早稲田 松浦 ③星野のグッツ♡ ④東海 高山 ⑤サッカー選手 ⑥ちねあてくくつ下にはさんでるやつ ⑦ポニーお 好きー♫	松居史晃 ①うちの2番手 ②ザングル 松浦 ③慶應1年伊藤のカイエン ④法政A 三木原のカラダ ⑤家 ⑥慶應の森のカラダ ⑦俺にホイホイついてこい!	後藤真徹 ①名大デイスカス 山岸 ②名古屋 内藤 ③関東の大学ならどこでも ④東大24 東 ⑤もともとうまくなった自分 ⑥布団の中での睡眠 ⑦期待しています
大阪23 ①大阪23 北村 ②名古屋 内藤 ③阪大トラック ④同志社6 竹山 宿舎でのだらけっぷりが... ⑤すべて ⑥バナナ、甘いもの ⑦大会で楽しいよ	北村公嗣 ①名大デイスカス 金井 ②立命館 上河 ③関西トラック ④慶應 星野 ⑤自然と一体になること ⑥フライト ⑦ありがとう	中村豪志 ①名大デイスカス 山岸 ②名古屋 内藤 ③関東の大学ならどこでも ④東大24 東 ⑤もともとうまくなった自分 ⑥布団の中での睡眠 ⑦期待しています	